



台北医学大学口腔医学院を訪問した際の様子

台北医学大学口腔医学院と北海道医療大学歯学部間の 大学院デュアルPh.D.ディグリーについて



歯学部 教授 安彦 善裕

グローバル化を目指して活発に取り組んでいる本学歯学部では、その一環として台北医学大学とデュアルPh.D.プログラムを開始することとなりました。デュアルPh.D.プログラムとは、2つの大学間で単位を互換し、両者が認める試験に合格し、提出された論文が両者から学位論文と認定された場合、それぞれの大学から博士(Ph.D.)の称号を与えられる制度です。同プログラム制定に向け、本学歯学部と協定校である台北医学大学口腔医学院との間で、これまで教員がお互いの大学を訪問しながら、何度となく話し合いがもたれてきました。その結果、両校の合意が得られ、本年3月7日に本学サテライトキャンパスにて同プログラムの調印式が執り行われることとなりました。海外の大学とのデュアルPh.D.プログラムは、国内の私立大学歯学部では初めての取り組みになります。

来年度からこのプログラムが運用されますと、希望する大学院生は本学大学院歯学研究科在籍中に、台北医学大学口腔医学院PhDコースの一定の単位を修得した場合、本学からは博士(歯学)、台北医学大学からはそれに相当するDoctor of Philosophy(Ph.D.)の学位を取得できることとなります。国を超えた2つの大学から学位を取得することによって、国際社会か

らの認知度は確実に高くなることでしょう。また、本学の修了要件に加えて、台北医学大学での修了要件も満たす必要があるため、より高度な専門的知識を身につけ、より質の高い研究を遂行する能力に磨きをかけることができます。さらに、中長期にわたり台北市に滞在する必要があるため、共通言語である英語力の向上や、異なる文化圏での生活を経験することにより、国際的な感覚を身につけることもできます。したがって、本プログラムは国際的な視野やスキルを有し、歯科医学の分野で国際的に活躍する人材の育成にきわめて有効に機能することが期待されています。

台北医学大学は1960年に創立され、首都台北市のほぼ中心部に位置し、医学・歯学・薬学・看護学など7つの学部からなる台湾有数の医療系総合大学です。国際交流に力をいれており、国際化・グローバル化への取り組みはアジアではトップレベルです。本学では既に2004年12月に大学間学術交流協定を締結しており、これまで学生の短期研修をはじめ様々な実質的交流を行ってきました。今回の本プログラムの提携により、両校のさらなる強固な連携関係の構築を基盤として、両校は日本、台湾において歯科医学研究の先導的役割を果たしていくことが期待されています。

CONTENTS

台北医学大学口腔医学院と 北海道医療大学歯学部間の 大学院デュアルPh.D.ディグリーについて	1
昇任教員紹介 定年退職される先生からのメッセージ	2
大学院歯学研究科の学生が 「第5回日本学術振興会育志賞」を受賞	4
2015年度入試結果速報 札幌市立高校との連携事業 札幌開成高校「ブレ先端科学特論」の 実施について	5
同窓会活動状況	6
地区別懇談会を開催 学内合同就職相談会を開催 「学園・同窓会役員懇談会」を開催しました。	8
私の学生時代	9
OB訪問[薬学部]	10
STUDENTS' ACTIVITIES & EVENTS	11
SCP任命式 EDITOR'S NOTE	12